

# 「壮警まんきつDAY」における学びカフェ

## 壮警町 胆振管内

### 【関係する団体】

家庭教育サポート企業、民生委員、児童委員、  
壮警小学校PTA役員、保育所親の会



教育講演会「最近子どもと話していますか」

## 1 活動の概要

- 日時  
平成29年8月5日（土）、9月9日（土）
- 場所  
地域交流センター山美湖、東湖畔トンネル、保健センター
- 参加者  
延べ 保護者35名 児童生徒29名
- ねらい  
町内の児童・生徒及び保護者を対象に、親子体験活動、教育講演会を実施し、子どもの発達段階に応じた親力を高め、家庭の教育力向上を図る。
- 活動の形態  
町内唯一のトンネル工事現場を親子で見学した。その後、保護者を対象としたワークショップ形式の教育講演会を実施した。グループに分かれて、各家庭における子育ての実情や悩みなどを交流し、親子の円滑なコミュニケーションのとり方について学びを深めた。

## 2 実施上の工夫

- 参加する保護者の親力と次回以降の参加意欲を高めるため、ワークショップ形式の教育講演会の実施に加え、地元の教育資源を活用した見学や体験活動を多く取り入れ、参加者のニーズに合わせた内容となるよう工夫した。
- 事業後に親子が共通の話題で会話ができるよう、協力して行う活動や交流機会を多く設定した。
- 地域のサークルや団体と連携し、幼児等の受け皿となる託児所を設けるなど、保護者が参加しやすくなるような、気軽さのある雰囲気づくりに努めた。



東湖畔トンネル見学

## 3 活動の成果

- 家庭教育ナビゲーターが、保護者同士の語り合いや交流を促進する役割を担ったことで、楽しくリラックスした雰囲気の中で、家庭教育や子育てについての有意義な意見交換を行うことができた。
- 参加者目線に立った活動内容にしたことで、初めて参加する保護者が増えるとともに、事業満足度も高かった。参加者からの感想を分析し、誘い合って参加したくなる学び合いの場をさらに構築していく。

## 4 活動の課題

- 本事業を継続的に実施し、より多くの保護者の親力を高めるため、保護者のニーズを探り、事業内容に反映させていく必要がある。
- 事業趣旨を踏まえ、参加をためらう保護者へのアプローチや孤立しがちな保護者への参加促進の方法を検討する必要がある。
- 長期休業中の生活習慣や、子どもの電子メディアとの関わりなどをテーマにした取組も実施する必要がある。